

## 遺伝子細胞治療 WEBセミナー

# 基礎から学ぶ遺伝子治療の実施体制

遺伝子治療を実施するにあたって、医療現場ではカルタヘナ法対応や原料細胞の取扱いなど、特別な対応が求められます。本セミナーでは、遺伝子治療の基礎から、実践のための体制構築の実例やPMSの課題までご紹介します。ご興味のある方はぜひお申込みください。

日付

2022年 **8月4日** (木) **13時**~17時

内容

13:00-13:10	開会の挨拶
13:10-13:40	遺伝子治療の基礎、これまでの遺伝子治療
13:40-14:40	<i>Ex vivo</i> 遺伝子治療における原料細胞の取り扱い
(休憩10分間)	
14:50-15:50	<i>In vivo</i> 遺伝子治療とカルタヘナ法
15:50-16:50	遺伝子治療の post-marketing survey (PMS) (後日配信なし)
16:50-17:00	閉会の挨拶

講演者： 中国正祥、内山徹、小野寺雅史

※各講演のテーマ等は変更する場合がございます。予め承知おきください

対象

遺伝子治療実施に向けて基礎知識を得たい方、  
治験など臨床開発に従事している方 など  
(製薬企業、CRO、SMO、医療関係者、行政の方など)

開催

オンライン開催 (後日配信あり)  
(Microsoft TeamsとMoodleを使用します)

参加費  
(税込)

営利企業 5,000円  
その他 2,000円  
成育医療研究センター職員 無料

申込み  
締切

7/25 (月) 12時

お申込み方法

WEBフォームからお申込みください

<https://forms.office.com/r/6ev7zHLuFu>

セミナーの質向上および遺伝子治療用の教育コンテンツ作成を目的として、セミナー前後にアンケートと練習問題への回答にご協力をお願いする予定です。回答へのご協力は任意です。詳細は申込み手続き完了後に別途ご連絡します。

お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
遺伝子細胞治療推進センター  
E-mail: [gcp-center@ncchd.go.jp](mailto:gcp-center@ncchd.go.jp)

本セミナーで使用する一部のコンテンツは、ファイザー医学教育プロジェクトの研究助成を受けて作成・利用しています